

2023 年 1 月 20 日

2022 年 12 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は仕事量の減少もあり小ロット物件が中心で前年を大幅に下回った。

巻取は生損保、学参、チラシに動きがみられ前年をやや上回った。

（前年比 平判 88.7% 巻取 104.3%）

再生紙平判は入札案件の受注減少が続いている上、在庫が全体的に不足気味のため前年を大幅に下回った。

再生紙巻取は前月に引続き大口案件の受注があり前年を大幅に上回った。

（前年比 再生上質平判 63.1% 再生上質巻取 239.9% 再生上質計 136.2%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 91.3%）

（2019 年比 印刷用紙 A 計 83.4%）

<A2 コート>

平判はイベント、旅行パンフや飲食店、観光地チラシの動きは一定数みられたが、雑誌ではページ数及び部数の減少の動きが進んでいる。グロスの前年を上回ったがマットは下回った。

巻取は各種イベント関連、スーパー、ドラッグストアで一部動きがみられたが、金融、教育、デリバリー関連の動きが鈍かった。また、定期雑誌においては落ち込みが続いており、マットは前年を上回ったがグロスは大幅に前年を下回った。

（前年比 平判 100.0% 巻取 90.7% 全体 97.9%）

（2019 年比 A2 コート計 78.8%）

<A3 コート>

旅行、食品スーパー、ドラッグストア、イベントのスポットチラシ案件で動きがみられたが巻取は前年を下回った。

（前年比 平判 134.5% 巻取 93.8% 全体 102.7%）

（2019 年比 A3 コート計 79.2%）

<ノーカーボン紙>

平判はコロナワクチン予診票の動きも見られず非常に低調な動きとなった。巻取は新年度分傷害保険の帳票が web 化となったものがあり大幅に落ち込んだ。

（前年比 平判 83.1% 巻取 86.9%）

＜上質フォーム＞

生損保、自治体の通知物は堅調なものの帳票の動きは少なかった。価格修正前の製品在庫積み上げの影響もあり、在庫消化中心の動きとなり前年を大きく下回った。

（前年比 80.1％）

＜包装用紙＞

特殊両更は官公庁、一般企業向け封筒を含め全般的に動きが低調で前年を大幅に下回った。

（前年比 67.4％）

軽包装は雑包装用途、生花店向け包装用途の動きが堅調で前年を大幅に上回った。

（前年比 117.8％）

片艶晒は年末年始向けの包装用途、手提げ袋の動きに一服感がみられた。また在庫不足からの他銘柄への切り替えも影響しており前年を大幅に下回った。

（前年比 66.7％）

両更晒は製薬会社向け、役所向け封筒に一部動きがあったものの全体的には動きが低調で前年を下回った。

（前年比 94.6％）

純白ロールは生花向け、菓子包装用途向けに動きがみられ前年を大幅に上回った。

（前年比 147.9％）

包装紙全体でも 98.2％と前年を僅かに下回った。

＜板紙＞

コートボール、特板は製品の価格修正により食品、菓子、日用品の物価高騰の影響で買い控えの状況があったが、旅行支援を受け人流の回復やインバウンドでの外国人観光客の増加で土産物は好調であった。チップは出版の上製本向けは本文の価格修正で在庫調整が入り低調であった。一方、貼り箱向けはバレンタイン、ホワイトデーなどもあり比較的堅調であった。

（前年比 114.4％）